

教材事例書式

教材教具名 「コロちゃんはどこ？」	教科 (国語)	情報提供者 (小学部1年生)
<p>教材教具写真</p> 		
<p>教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等</p>		
<p>1 ねらい 紙芝居の内容に興味をもって自分からドアを開けたり、台詞をおぼえたりすることができる。</p> <p>2 発達段階など 話し言葉を獲得する時期 (一語文～二語文へ)</p> <p>3 使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・犬の鳴き声と共に母犬とコロちゃんを登場させ期待をもたせる。 ・紙芝居「コロちゃんはどこ？」を読む。 ・紙芝居の中にめくりをつくり、児童が紙芝居をめくってコロちゃんを探すように促す。 ・写真カードを提示し、教室の中で実際にコロちゃんを探す。 		
<p>児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)</p>		
<p>絵本「コロちゃんはどこ？」を題材に、コロちゃんを探す場所を児童の身近な教室内の机やかごの中に変えて絵本を作りなおした。また、コロちゃんを絵ではなく人形で動かすことで、キャラクターに注目しやすくした。</p> <p>授業を重ねる中で、簡単な繰り返しである「コロちゃんはどこ?」「ここかな?」という言葉が児童からでてきた。めくりのしかけを用いたことで、紙芝居に興味をもち進んでめくろうとする姿が見られた。実際にコロちゃんを探す場面では、探す箇所を少しずつ増やすことで、コロちゃんを探すという目的意識をもってコロちゃんを探しにいくことができた。しかし、教室内のカーテンの後ろやプラスチックカーの中など、児童にとって探しづらい場所を設定してしまっており、探す場所の配慮が必要であった。</p>		